

林業イノベーション推進シンポジウム実施報告

林業イノベーション推進に向けた機運醸成と、林業と異分野の関係者が緩やかに繋がることのできる場の形成を目的として、2月8日にシンポジウムを開催しました

開催概要

- 名称：令和4年度林業イノベーション推進シンポジウム
～ 林業と異分野をつなぐプラットフォームを構築し、
新たな価値を創出～
- 日時：令和5年2月8日(水) 10:30～17:05
- 開催場所：木材会館大ホール
(東京都江東区新木場1-18-8)
- 開催方法：会場とYouTubeによるオンライン同時配信
- 一般社団法人林業機械化協会と森ハブの共同開催にて実施

開催目的

- 林業イノベーション推進に向けて、先進的な林業機械等の現場実証の取組や林業イノベーションハブセンター(森ハブ)の取組等を発表
- プラットフォーム構築に必要なネットワークや意識醸成、将来的に異分野を含むプレイヤーの巻き込みにもつなげていけるような場の形成の創出

プログラム概要

10:30～ 10:40	主催者挨拶
10:40～ 12:10	【第1部】 先進的林業機械緊急実証・普及事業成果報告会
13:00～ 14:15	【第2部】 森ハブを中心とした林業イノベーション推進に向けたプラットフォーム構築 情報提供
14:30～ 16:00	パネルディスカッション -林業イノベーション推進に向けたプラットフォーム構築に向けて-
16:15～ 17:00	【第3部】 会場開催のみ 情報交換会
17:00～ 17:05	閉会

シンポジウムチラシ

令和4年度 林業イノベーション推進シンポジウム

～林業と異分野をつなぐプラットフォームを構築し、
新たな価値を創出～

林業イノベーション推進に向けて、先進的な林業機械等の現場実証の取組や林業イノベーションハブセンター（森ハブ）の取組等を紹介しながら、プラットフォーム構築に必要なネットワークや意識醸成、将来的に異分野を含むプレイヤーの巻き込みにもつなげていけるような場の形成の創出を目的として、シンポジウムを開催します。

日時 令和5年2月8日(水)
10:30～17:05

会場 木材会館大ホール
(東京都江東区新木場1-18-8)
YouTubeによるオンライン同時配信

参加費
無料

10:30～10:40	主催者挨拶
10:40～12:10	【第1部】 先進的林業機械緊急実証・普及事業成果報告会
13:00～14:15	【第2部】 森ハブを中心とした林業イノベーション推進に向けた プラットフォーム構築 情報提供
14:30～16:00	パネルディスカッション ー林業イノベーション推進に向けたプラットフォーム構築に向けてー
16:15～17:00	【第3部】 ※会場開催のみ 情報交換会
17:00～17:05	閉会

主催・お問い合わせ先



■林野庁 森林整備部 研究指導課 技術開発推進室
(森ハブ事務局：有限責任監査法人トーマツ)
TEL：03-3501-5025 E-mail: mori-hub@tohmatu.co.jp

■一般社団法人 林業機械化協会
TEL：03-5840-6217 E-mail: www-admin@rinkikyoo.or.jp

一般社団法人
林業機械化協会



プログラム詳細

10:30～10:40 ■主催者挨拶
林野庁 森林整備部長 小坂 善太郎
林業機械化協会 会長 島田 泰助

【第1部】 先進的林業機械緊急実証・普及事業成果報告会

- 10:40～12:10
- ①『新たな架線集材システムを活用した「集材・造材マルチワークシステム」の実証等』
中井林業、イワフジ工業
 - ②『山間地で林業機械等の遠隔操作や自動運転を可能にする支援システムの実証等』
山陽商事、MIKATAプロフェッショナルズ、加藤製作所、リプロ、テクノマセマティカル
 - ③『大型ドローンによる伐採木等運搬の実証等』
山崎産業、九州電力、BlueBee、千葉大学
 - ④『公道走行に適したホイール型フォワードの実証等』
福岡県広域森林組合、松本システムエンジニアリング
- 総括
東京農業大学 非常勤講師 今富 裕樹
(先進的林業機械緊急実証・普及事業検討委員会座長)

【第2部】 森ハブを中心とした林業イノベーション推進に向けた プラットフォーム構築 情報提供

- 13:00～14:15
- ①『林業イノベーション推進～林業と異分野をつなぎ新たな価値を創出～』
林野庁 森林整備部 研究指導課長 木下 仁
 - ②『林業イノベーションハブセンター（森ハブ）令和4年度の取組概要』
森ハブ事務局（有限責任監査法人トーマツ）
 - ③『新技術・異分野技術を活用した林業機械の自動化に向けた開発事例
「集材作業の自動化課題を解決するための3Dセンシング技術等を活用した
フォワードの開発・実証」』
諸岡、パナソニックアドバンステクノロジー、森林総合研究所、
東京農工大学
 - ④『イノベーションを起こすためのポイント』
神戸大学 バリュースクール 教授 坂井 貴行（森ハブ専門委員会委員）

パネルディスカッション ー林業イノベーション推進に向けたプラットフォーム構築に向けてー

- 14:30～16:00
- ◇ファシリテーター
筑波大学 生命環境系 准教授 立花 敏（森ハブ専門委員会座長）
 - ◇オブザーバー
林野庁 森林整備部 研究指導課長 木下 仁
 - ◇パネリスト
神戸大学 バリュースクール 教授 坂井 貴行（森ハブ専門委員会委員）
柴田産業 代表取締役 柴田 君也（森ハブ専門委員会委員）
森林総合研究所 林業工学研究領域 収穫システム研究室
室長 中澤 昌彦（森ハブ分科会(機械開発)委員）
諸岡 営業企画部 部長 中島 泰生
パナソニックアドバンステクノロジー 研究開発本部
イノベーション基盤開発室 第一課 課長 松井 敦史

【第3部】 ※会場開催のみ 情報交換会

16:15～17:00 閉会
17:00～17:05 挨拶 林野庁 森林整備部 研究指導課 技術開発推進室長 増田 義昭

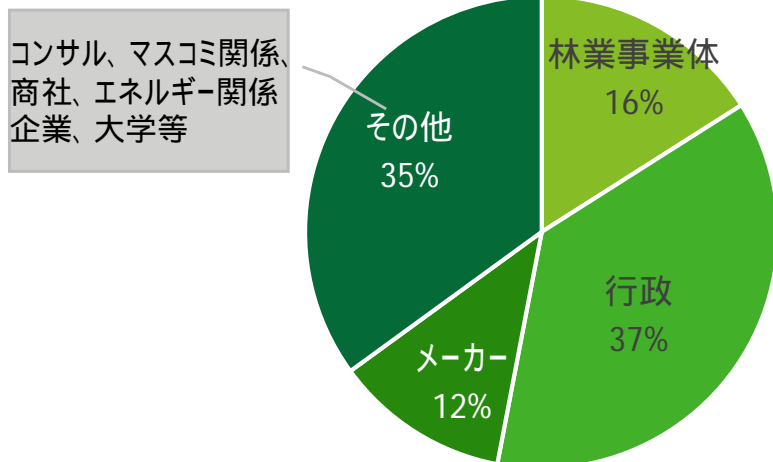
参加者は行政に次いでその他関係者が多く、林業以外の異分野を含めた関係者にも多数参加いただきました

実施結果（1.参加者の状況）

■ 事前の参加申込状況

参加方法	所属				計
	林業事業体	行政	メーカー	その他	
会場参加	26	34	32	48	140
オンライン	65	174	38	151	428
計	91	208	70	199	568
割合（％）	16	37	12	35	-

【参加申込者（会場参加・オンライン）】



■ 当日の参加状況（会場）

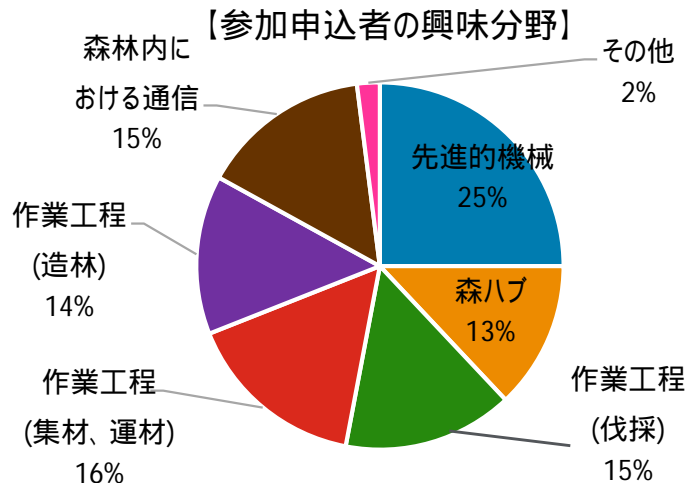


参加申込者の興味分野では先進的機械が最も多く、次いで作業工程（集材・運材）が多い結果となっており、森ハブへも255人の方が興味関心ありと回答しています

実施結果（2.参加申込者の興味分野）

参加申込者の興味分野

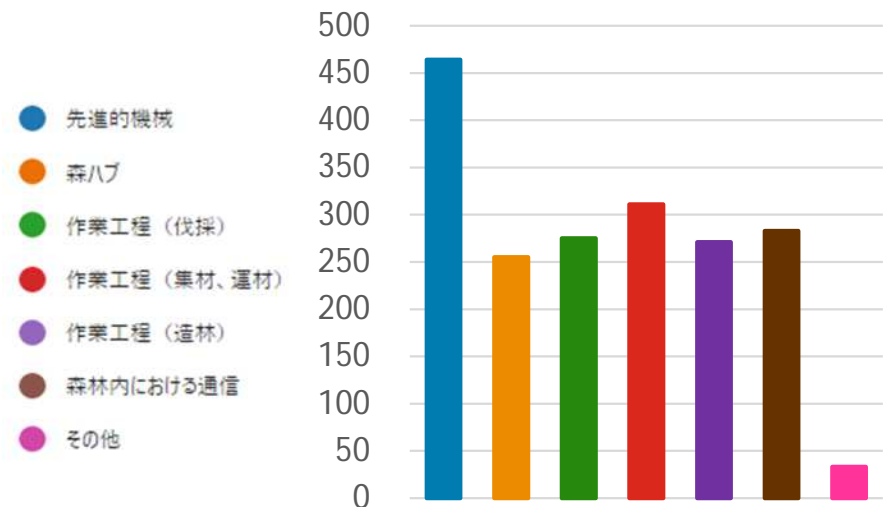
興味分野 （複数選択可）	回答数	割合(%)
先進的機械	464	25
森ハブ	255	13
作業工程（伐採）	275	15
作業工程（集材、運材）	311	16
作業工程（造林）	271	14
森林内における通信	283	15
その他	33	2



【「その他」の主な回答内容】

分類	回答内容（抜粋）
技術開発	技術の社会・産業実装、資材運搬、ドローン活用、UAV、3Dレーザ測量、GISの活用、位置情報管理の効率化 等
林業デジタル化	林業DX、スマート林業、森林情報取得、産業連携システム開発 等
作業工程	育林、苗木生産、伐採から造林作業までのシミュレーション 等
異分野	異分野からの参入事例、異分野との連携 等

【参加申込者の興味分野】



シンポジウムへの満足度や今後の事業検討の参考とするため、アンケートを実施しました

実施結果（3.アンケート実施内容）

■ アンケート実施概要

- 目的：シンポジウムへの満足度等を把握し、先進的林業機械緊急実証・普及事業並びに林業イノベーションハブ構築事業での今後の参考とするため
- 対象：会場参加者・オンライン参加者
- 期間：令和5年2月8日(水)～2月20日(月)
- 実施方法：Webフォームへの入力
- 回答者数：108件（回答率約20%）

■ アンケート実施項目

シンポジウムに関する質問

- Q1.お名前を教えてください
- Q2.ご所属（会社名・団体名・部署名等）を教えてください
- Q3.メールアドレスを教えてください
- Q4.当シンポジウムを知ったきっかけを教えてください
- Q5.シンポジウム参加後の関心のある分野を教えてください
- Q6.本シンポジウムの満足度を教えてください
- Q7.Q6でそのように回答した理由をお聞かせください
- Q8.次回、イベントを実施する場合は参加したいですか
- Q9.今後、関連するお知らせをお送りしてもよろしいでしょうか
- Q10.イベントや事務局へのご意見、ご要望がありましたらお知らせください

各事業に関する参考質問

- Q11.林業機械の自動化等が実現するとすれば、どの作業工程が一番実現して欲しいですか
- Q12.林業イノベーションの推進のために何を進めなければいけないと思いますか
- Q13.Q12でそのように回答した理由を教えてください
- Q14.林業イノベーションの推進に向けて、こんなものが欲しいというものがあれば、記載してください
- Q15.森ハブ（プラットフォーム）に参加したいと感じますか
- Q16.（Q15で「はい」と答えた方対象）期待する機能は何ですか
- Q17.（Q15で「いいえ」と答えた方対象）参加したいと思えない理由を教えてください

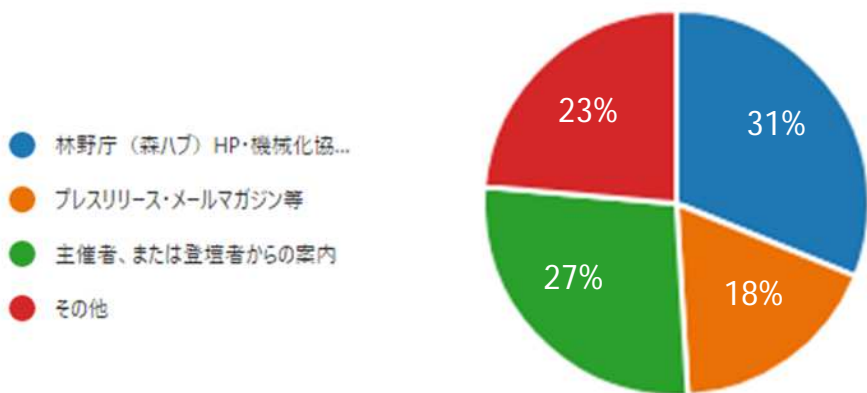
約半数の方が、HPやメールマガジン等の媒体をきっかけに申込みいただきました。シンポジウム参加後の関心分野では、参加前に比べて森ハブへの関心割合が高まりました

実施結果（4.主なアンケート結果 1/3）

主なアンケート結果を抜粋して紹介

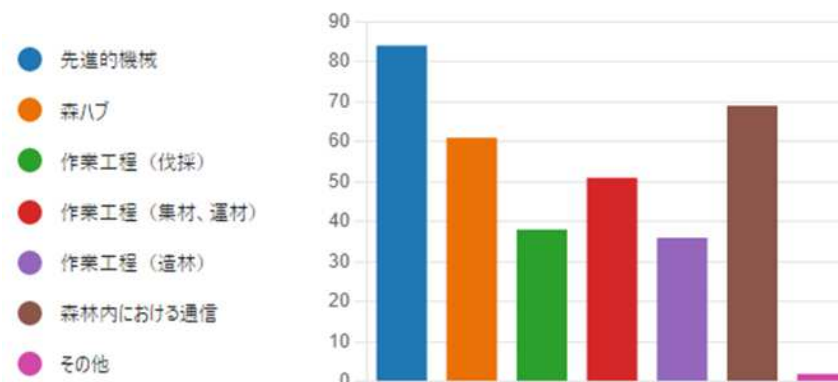
■ Q4.当シンポジウムを知ったきっかけを教えてください

当シンポジウムを知ったきっかけ	回答数	割合(%)
林野庁（森ハブ）HP・機械化協会HP	33	31
プレスリリース・メールマガジン等	19	18
主催者、または登壇者からの案内	29	27
その他	25	23



■ Q5.シンポジウム参加後の関心のある分野を教えてください（複数回答可）

シンポジウム参加後の関心分野	回答数	割合(%)
先進的機械	84	25
森ハブ	61	18
作業工程（伐採）	38	11
作業工程（集材、運材）	51	15
作業工程（造林）	36	10
森林内における通信	69	20
その他	2	1



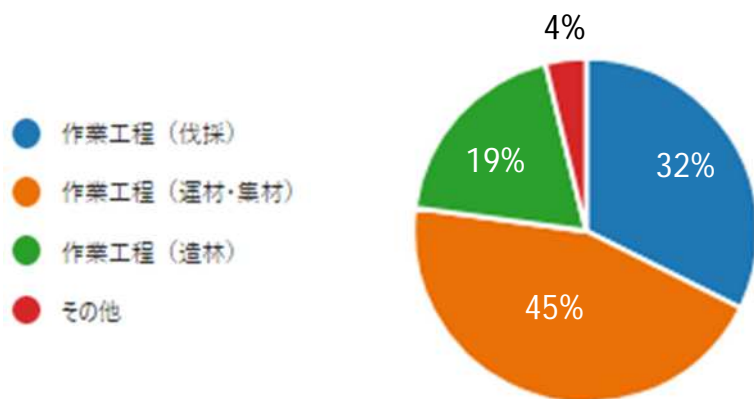
林業イノベーション推進のために取り組むべき事項としては、「先進的林業機械の開発・実証」および「森林内における通信の課題解決」への回答が多くなっています

実施結果（4.主なアンケート結果 2/3）

主なアンケート結果を抜粋して紹介

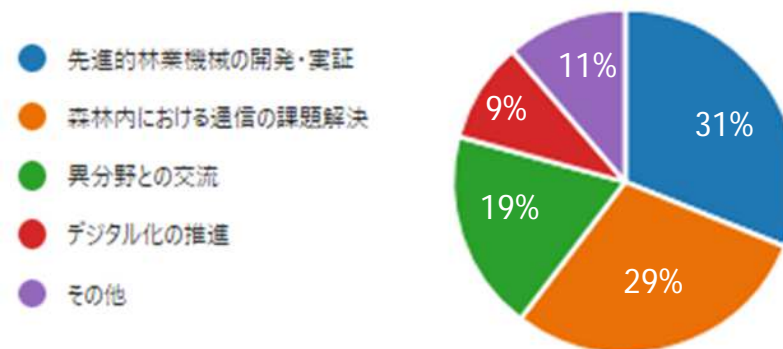
- Q11.林業機械の自動化等が実現するとすれば、どの作業工程が一番実現して欲しいですか

自動化を希望する作業工程	回答数	割合(%)
作業工程（伐採）	34	32
作業工程（運材・集材）	47	45
作業工程（造林）	20	19
その他	4	4



- Q12.林業イノベーションの推進のために何を進めなければいけないと思いますか（複数回答可）

林業イノベーション推進のために必要な取組	回答数	割合(%)
先進的林業機械の開発・実証	33	31
森林内における通信の課題解決	31	29
異分野との交流	20	19
デジタル化の推進	10	9
その他	12	11



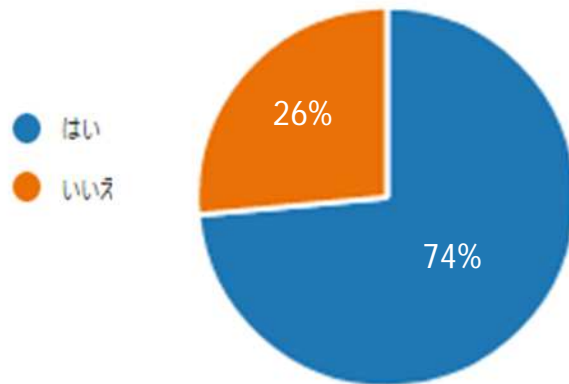
森ハブプラットフォームへの参加意向では、約74%の方が参加したいと回答があり、期待する機能としては「先進事例や異分野の情報収集」「交流機会の提供」が挙げられています

実施結果 (4.主なアンケート結果 3/3)

主なアンケート結果を抜粋して紹介

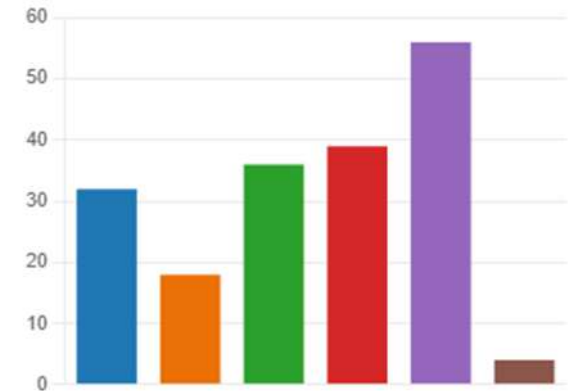
■ Q15.森ハブ（プラットフォーム）に参加したいと感じますか

森ハブに参加したいか	回答数	割合(%)
はい	75	74
いいえ	27	26



■ Q16.（「はい」と答えた方対象）期待する機能は何ですか（複数回答可）

- 事業者（メーカー）や地域とのマッチング
- コーディネーターや事務局による取組支援
- 勉強機会の提供
- 交流機会の提供
- 先進事例や異分野の情報収集
- その他



■ Q17.（「いいえ」と答えた方対象）参加したいと思えない理由を教えてください（複数回答可）

- 取組の効果が期待できない
- 自社の参画メリットが見えない
- 対応負担が大きい
- その他

